

2019年、開局50周年を迎えた FBS福岡放送では、 九州の民放で初となる 4K大型中継車の完成を迎えました。

当中継車は様々なスポーツやエンターテインメント制作の現場で幅広くお役に立ちたいと思っています。また当中継車が、これからの若いエンジニアの学びの場となるべく、人材育成の拠点にしたいと考えています。また、福岡・九州のいろんな現場で番組制作に携わる皆様とのコミュニケーションの場になり、皆様の新しいビジネスを創出する一助となることを願っています。

制作室

- ・2台のメインモニター、32台のピクチャーモニターを備え、また SWパネル卓はスライド構造とし、制作番組の用途に応じて最適な位置に調整可能。
- ・ディレクター、スイッチャーにとって必要な音声のみ聞きとりやすいようスピーカーなど音声環境に配慮。
- ・きめ細かく、分かりやすいインカム連絡装置を構築。



助手席

- ・小スペースの機材設置が可能。
- ・各種信号の端子を用意。
- ・専用テーブル設置可能。
- ・空調あり。

- 4K HDR HLG LIVE、S-log3などの多種多様なフォーマットに対応。4K信号は12G-SDI伝送。
- 4Kカメラ (HDC-4300) 10式常時搭載。最大16式分の機器を中継車内に実装可能。
- HDでは全てのカメラに HFR (ハイレームレート 最大8倍速スーパースロー) 機能を搭載。
- 制作室、SLOW卓、VE室はそれぞれ余裕のあるスペースを確保。長時間のオペレーションでも疲れないよう、また直観的で分かりやすい機器レイアウトにも配慮。
- SW'er卓や SLOW卓をスライドさせ、また、ユーティリティ卓を使用することで番組に応じた制作環境を実現。

SLOW卓

- ・標準で4人まで SLOW担当者がスタンバイ可能。
- ・座席を高くしているため、制作室のモニタも視聴できる。



VE 室

- ・10台のソニー製 HDC-4300カメラを標準装備。12台までラックに実装可能。
- ・標準で3人オペレート。最大で4人オペレート可能。
- ・4K運用時は、30インチ4Kモニターを取り付け、HDモニター映像と比較運用。



ユーティリティスペース

- ・2ラック11U分のスペースがあり、追加機材の設置が可能。
- ・4カメラ分の接続端子も用意。



遮音カーテン

- ・制作室と VE室の間に遮音カーテンを設け独立した空間としたため、それぞれの担当者が集中して作業できる。

ユーティリティ卓(取り外し可能)

- ・番組用途に応じて、プロデューサー卓・音声卓・拡張 SLOW卓・CG卓を設置可能。また卓の位置調整が可能。
- ・必要なインカム設備や各種信号線の端子盤も用意。
- ・ユーティリティ卓を取り外した際は広い空間が確保でき、来客・見学にも対応可能。

